

平成25年度

学校評価報告書



帝塚山幼稚園

1. 学校評価総括

建学の理念

「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」

教育目標

幼児の発達段階に応じて一人ひとりの個性を生かし、気品と礼節のある子ども、強健な体と豊かな感性を持つ子ども、自立かつ自律的精神を持つ子ども、表情の豊かな子どもを育成する。

これまでの成果と課題

礼儀正しく、品性豊かな子どもの育成において高く評価されている。またさまざまな体験活動、表現活動を通して園児の感性を磨いてきた。今後教員の指導力向上に取り組み、園児の成長により一層の成果をもたらすよう取り組みたい。

| 本年度の重点目標 | 具体的目標 | 総合評価・特記事項 |
|----------------|--|--|
| 保育内容の充実 | <ul style="list-style-type: none">・公徳心の涵養・園児の表現力向上ための保育内容の点検・改善・身体能力向上のための環境整備 | 校務組織を教務部と広報部、人権部に整備し、全職員で園の運営にかかわっていく体制を整備した。また、公開研究会は、150名を超える参観者があり、盛会に終えることができた。預かり保育の午後6時までの延長など、保護者のニーズにこたえる体制作りを行った。募集対策に関しては、外部に対し全職員で積極的に広報活動を展開したり、募集期間を延長するなどの対策を講じたが、昨年度より、大幅に入園者が減少した。 |
| 教員の意識改革・行動改革推進 | 自己点検シートを通して自己の教育活動を振り返る | |
| 園児募集活動の強化 | 帝塚山幼稚園教育の広報活動の充実 | |

2. 教育活動に関する評価

| 具体的目標・具体的方策 | 評価指標 | 自己評価 |
|----------------|--|------|
| 教育課程・指導 | | |
| 教育目標の設定 | 建学の精神と幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい教育目標を設定する | A |
| 教育目標の周知 | 園の教育目標を教職員、保護者に恒常的に周知を図る | A |
| 指導計画の作成 | 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成する | A |
| | あそびを通して工夫したり、友だちと協力できる力を向上する | |
| | 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう | |
| 研修 | 全職員が年に1回以上園内公開保育を行なう | A |
| | 外部研修に積極的に参加し、その内容・頻度及び結果報告をする | |
| | 参加した外部研修の成果を内部研修などで発表し、教職員の共通理解を図る | |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

3. 学校経営に関する評価

| 具体的目標・具体的方策 | 評価指標 | 自己評価 |
|-------------|-------------------------------|------|
| 経営・運営 | | |
| 組織運営 | 園長の指導のもと、教育目標の周知を図る | B |
| | 校務分掌の適切な運営とその責任体制を整備する | |
| 安全管理 | 安全点検マニュアルの周知徹底を図る | A |
| | 日常の安全点検・定期的安全点検を充実させる | |
| 保健管理 | 地域保健・医療機関との連携を密にする | A |
| | 日常の健康観察をきめ細かく行う | |
| | 園児の怪我等に速やかに対応する | |
| 情報管理 | 個人情報の適切な管理に努める | A |
| | 公文書の管理・保管を徹底する | |
| 保護者との連携 | 育友会活動に参加し、連携を緊密にする | A |
| | 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる | |
| 情報提供 | 園だより等で幼稚園の情報を発信していく | A |
| | 「クラスだより」は毎月発信して情報を共有する | |
| | ホームページでの情報の発信と新しい情報の更新に努力する | |
| 子育て支援 | 子育て支援講座を定期的実施する | A |
| 預かり保育 | 保護者の要望に応じて預かり保育を行う | A |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】